

はじめに

21世紀は、予測不可能な時代だと耳にしていました。分かっているつもりでいました。でも、少しも分かっていたことを知りました。21世紀が始まって約20年を過ぎた今、私たちの周りには予測不可能な様々なことが生じています。コロナウイルス感染症の急激な世界的感染拡大、ロシアのウクライナ侵攻、地球温暖化による環境の変化、ICTの発達による様々な進化と変化等々。それらの予測不可能なことは、コロナウイルス感染症のように突然生じるものであったり、潜在的に進行していたことが顕在化されるものであったり等、様々です。

このような世の中を生きていく子供たちに必要な力とは何でしょうか。その力を育てるために私たち教師は、学校教育は、何をしたらいいのでしょうか。改めて自問自答しています。

本校の令和3年度研究主題は「Agencyを育む学び～共に創るプロジェクト学習～」でした。本年度は、各学年が頭と心に汗をかき取り組んでいる学年プロジェクトの実践を一覧表に表現し、1年生から3年生までの学びの軌跡を可視化することができました。支え・協力してくださっている安居地区1000世帯に配付し、子供たちの学びを伝え感謝することもできました。教職員も生徒も他学年の実践について「なんとなく知っている」から「プロセスを知った」に進化し、さらには、自分たちの次の発意の一助としています。新しいことを行うのはとても大変です。手前味噌ではありますが、この一覧表が作成できたのは、先生方が子供たちの意欲や思いに寄り添い、取組や学びをロングスパンで掴んでいた賜物です。

教科の授業においても、研究主任の提案のもと各々がプロジェクトシートを作成し、小グループで語り合いました。この語り合いは、自分が大切にしている「教科の学びの核」を自己認識する機会になりました。そして、今年度も100名ほどの参加を賜り、授業公開と公開研究会を行うことができました。安居中学校の研究の実績とプライドは、教職員のみならず生徒の中にも浸透し始めています。生徒の姿や語る言葉がその証だと自負しています。嬉しい限りです。本研究紀要の中に、先生方と生徒の学びの足跡が記されています。御一読いただけましたなら幸いです。

次年度、安居中学校は10周年を迎えます。この機会を一つの節として、ロングスパンで振り返り、これからの安居中学校の有り様について議論していきたいと思えます。

最後になりましたが、本校の実践研究に日ごろより御教示・御示唆をいただいている福井市教育委員会、福井市中学校教育研究協議会、福井大学連合教職大学院の諸先生方に、深く感謝申し上げます。今後とも本校の教育に御支援賜りますようお願い申し上げます。

令和4年3月

福井市安居中学校 校長 高橋和代